



# 市議会報あやせ

平成15年(2003年)6月  
発行 綾瀬市議会

☎0467 - 77 - 1111

編集 議会報編集委員会

## 3月定例会 平成15年度予算決まる

# 6会計予算総額 395億8千万円を可決

## 対前年度比0.6パーセントの増

三月定例会が、三月三日から二十日までの十八日間の会期で開かれました。この定例会では、平成十四年度五会計補正予算、平成十五年度六会計予算、小児医療費助成条例、介護保険条例のほか市道路線の認定・廃止百八件など市長から提出された百二十四議案を審議し、それぞれ可決。議員提出議案では、委員会条例の一部改正を可決。意見書四件を可決、二件を否決しました。陳情は四件を趣旨了承、四件を趣旨不承に決しました。また、五月臨時議会が九日、選挙後の初議会として開かれ、市長提出議案三件を可決、同意。新しい正副議長や各常任委員会委員などが決まりました。(案件名と結果は八ページに掲載)

### 「勇気」と「知恵」を持って諸施策を展開

#### 施政方針

三月定例会に市長は、平成十五年度一般会計予算二百三十億五千万円を柱に、六会計予算総額三百九十五億八千万円を提案し、併せて新年度の施政方針を述べました。

その中で市長は、機構改革を四月一日から実施し、新たな行政組織として職員一丸となって市民福祉の向上に努めていく。本市の財政状況は、税収に大幅な落ち込みが見込まれ厳しい状況ではあるが、国庫補助金などの特定財源を最大限に確保するとともに八万一千余の市民が幸せと豊かさを実感できるまちづくりを目指す。

すとし、前年度と比較して二億三千万円の増、伸び率0.6%の積極型予算を編成しました。

主な施策としては、(仮称)中央緑道(仮称)北部地域公園の整備、福祉社会実現のための(仮称)保健福祉マスタープラン並びに地域福祉計画を策定するとともに、小児医療費助成事業の未就学児までの対象拡大と併せて、市民が夜間、休日に安心して適切な医療を受けるための広域救急医療体制を確立。さらに、近隣市との連携強化による二十四時間の小児救急医療体制を確保。また、統合に向け第一学校給食センターを増築するとともに、第二学校給食センター調理業務等を民間に委託。地域活性化インターチェンジ設置のための促進連絡協議会の設立などが計画されています。(関連記事を二ページに掲載)

### 5月臨時議会

五月臨時議会では、正副議長選挙が行われ、議長に内藤 寛議員、副議長に山岸篤郎議員を選出したほか、議会運営委員会などの各委員を選任しました。また、市長から提出された監査委員の選任に関する議案では、安藤多恵子議員を選出することに同意しました。(各委員会などの構成は七ページに掲載)

小児医療費助成を未就学児まで拡大

本定例会に提出された条例の一部改正のうち、小児医療費助成条例の一部改正は、通院に係る医療費助成の対象年齢を現行の三歳児から未就学の六歳児までに引き上げるもの、介護保険条例の一部改正は、平成十七年度までの各年度における保険料の区分を五段階から六段階に改めるもので、介護保険法施行規則の改正に伴うものです。

### 就任あいさつ

市民の皆様には、日頃から市政の推進に対し、御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、このたび私も両名は、議員各位の御推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。誠に身にある光栄と同時に職責の重さを痛感し身

の引き締まる思いでございます。もとより微力ではありますが、終始中立公正な立場で円滑なる議会運営に努め、市の意思を決定する議決機関として、市民の声を的確に市政に反映させ、皆様の信頼と負託にこたえてまいれる所存でございます。今後とも、市政に対する市民各位の一層の御支援と御鞭撻をお願い申し上げます。



4月29日、「守ろうよ 森は地球の宝物」をテーマに城山公園を中心に開催された第14回緑化フェア。好天に恵まれ訪れた市民は花や緑に囲まれ賑やかな一日を過ごしました



副議長 山岸篤郎



議長 内藤 寛